



伊仙町議会だより

しせん

第88号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3150

編集 議会広報編集委員会

印刷 (株) 奄美新生社印刷

新体制のもと、伊仙町議会始動!!

～初議会～ (令和8年2月6日)



令和7年第4回定例会

議長就任挨拶・伊仙町議会構成表……………	2 P
新議員のご挨拶……………	3 P
全議案審議結果・三カ町議会議員大会……………	4 P
一般質問……………	5～7 P
議長の動静・新広報委員会・編集後記……………	8 P

## 議長就任のご挨拶

このたび、議員各位のご推挙により、伊仙町議会議長という大役を仰せつかりました。誠に身に余る光栄でありその責任の重さに身の引き締まる思いであります。

歴史と伝統ある伊仙町議会の議長として、町民の皆さまの信頼と期待に応えるべく、公平・公正な議会運営に全力を尽くす所存です。

議会は、町民の声を町政へと届ける最も身近な大切な場でもあります。多様な意見を尊重しながらも、建設的な議論を重ね、伊仙町の未来にとって最善の結論を導き出すことが私たちの責務であると考えております。

そのためにも、議員各位のご理解とご協力を賜り、互いに敬意を持ちながら、円滑で実りある議会運営に努めてまいります。微力ではありますが、伊仙町のさらなる発展と町民福祉の向上のため、誠心誠意努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

令和8年3月吉日

伊仙町議会議長

永田 誠

## 伊仙町議会構成

議長	永田 誠
副議長	久保 量

総務文教厚生常任委員会	
委員長	井上 和代
副委員長	清 平二
委員	前 徹志
委員	福 留達也
委員	永 田 誠
委員	久 保 量
委員	福 高志

経済建設常任委員会	
委員長	大河 善市
副委員長	酒 白 源宝
委員	樺 山 一
委員	岡 林 剛也
委員	牧 本 和英
委員	杉 山 肇
委員	政 寿 樹

議会運営委員会	委員長 清 平二 副委員長 酒 白 源宝 委員 福 留 達也・岡 林 剛也・杉 山 肇
徳之島地区消防組合議員	岡 林 剛也・牧 本 和英・政 寿 樹
徳之島地区介護保険組合議員	清 平二・杉 山 肇・福 高志
徳之島愛ランド広域連合組合議員	大河 善市・井上 和代・酒 白 源宝
議会選出監査員	岡 林 剛也
議会広報委員	委員長 井上 和代 副委員長 福 高志 委員 福 留 達也・久 保 量・政 寿 樹

議員定数:14名

現議員数:14名任期(令和8年2月3日~令和12年2月2日)

新議員のご挨拶



伊仙町議会議員

政 寿樹

このたびは、伊仙町議会選挙におきまして、多くの皆さまのご支援をいただき、初当選することができました。心より感謝申し上げます。

私は、「声を町政に届ける」ことを原点にこの町の未来のために挑戦を決意しました。

子育て、雇用、福祉、地域の賑わい、どれも他人事ではなく、自分自身の生活と直結した課題です。

まだまだ新人で学ぶことばかりですが、だからこそ、しがらみにとらわれず、現場の声を大切にし、まっすぐ町政に向き合っています。

小さな声にも耳を傾け、一つひとつ、形にしていく。その積み重ねで「住んでよかった」と思える町を皆さまと一緒につくっていきたいと考えています。

どうか今後とも、厳しく、そして温かくご指導いただきますようお願い申し上げます。



伊仙町議会議員

福 高志

町民の皆さまにおかれましては、大変お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。今回の伊仙町議会議員選挙におきましては、皆様方の温かいご支援を賜り町議会議員として町政に携わらせていただくことになりました。皆様方の期待に応えられるように誠心誠意頑張っていきます。

私は40年間、高校教師として、教育の現場に立ち、多くの高校生と向き合いました。その中で気になったのは高校卒業後、多くの若者が島を出て行ってしまいう事です。一方で、年月を経て再び島へ戻り、生活を始める方々も少なくありません。

これからは、そうした方々が「安心して生活できる町、そして誇れる町」となるよう今後取り組んでいきたいと思えます。

今後とも、町民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



伊仙町議会議員

酒 旬 源 宝

町民の皆さま、こんにちは。伊仙町議会、新人の酒旬源宝です。

このたびは、皆さまの温かいご支援とご信託を賜り、町政の場へと送り出していただきましたことに、心より感謝申し上げます。

議員としての第一歩を踏み出した今、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

私は、皆さまの切実な声を必ず町政へと届け、公平公正な政治を貫くことをお誓い申し上げます。

人づくりや基盤産業の振興、そして全世代が安心・安全に暮らせる町づくりは、本町の喫緊の課題です。町長と議会が公の場で活発な議論を尽くし、納得感のある課題解決を図ることで、真に「開かれた伊仙町」を築いてまいります。

次世代が輝ける環境を整えることは、今を生きる私たちの使命です。1期4年という限られた任期の中で、一步でも先へ政策を押し進めるべく邁進いたします。皆様のより一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



令和7年 第4回定例会

# 一般質問



大河 善市 議員

## 子育て支援事業について

**問** 子育て支援事業について、継続的支援事業及び今後予定される新規事業について問う。

**答** 産前産後、乳幼児期、学童期、思春期に至るまで教育や保健、医療、福祉など必要な支援を切れ目なく継続的に支援していると認識している。

**(子育て支援課長)**  
子育て世帯の不安や負担を軽減するため、相談・交流の場の提供、新生児訪問や産後ケア、各種検診を実施するとともに、支援金贈

て引き続き協議を重ね取り組んでいく。

## (総務課長)

国において、令和8年度以降を用途として公立小学校の給食費無償化の実施を目指す方向性が示されているが、確定はされておらず、協議が行われている段階である。引き続き国の動向を注視し、財政状況を総合的に勘案しながら子育て支援施策の充実に努めている。

## 公共ライドシェアについて

**問** 公共ライドシェア実証運行について、伊仙町ではバスの運行と同様の運行場所(停留所)が決まっている方式であるが、徳之島町・天城町の運行はタクシー方式「ドア・トゥ・ドア」方式が採用されている。本町における運行方法を採用した経緯について問う。

**答** 委託した長寿子宝社は、町の各種送迎サービス事業を担っている

## (未来創生課長)

関係上、ドア・トゥ・ドアのサービスに関しては、人的配置が難しいということ、今回は停留所を設けて運用することとなった。ドア・トゥ・ドアのサービスについては、要望等も多いので、今後の実証運行、運用において、導入していただけるよう財源等も踏まえ、改めて検討していきたいと考えている。

**問** 当該事業に関し、今後のスケジュールについて問う。

## (未来創生課長)

**答** 公共ライドシェア本格運行の開始時期については、令和9年10月を予定している。準備を進めていく中で、立証結果の反映や関係機関との調整状況により内容が一部変更する場合もあるが、住民の利便性の向上と持続可能性を最優先に、検討を進めていく。

町外への送迎については様々な条件があり、まずは両町との協議が必要となる。あとは着地点が限られてしまうなどが挙げられる。

る。様々な問題をクリアすることで町外への送迎も可能となってくると思うので、引き続き検討していきたいと考えている。

## 要望

国の交付金を有効活用し、子育て支援の充実及び高齢者支援対策として、公共ライドシェアが活用しやすいドア・トゥ・ドア方式を採用できるように要望する。

※公共ライドシェアとは：移動手段が無い、移動したい時間に公共交通が走っていないなど、移動に困っている地域において、自治体が主体となって、地域の交通資源を有効活用して有償の送迎を行うサービスです。





清 平二 議員

**役場新庁舎2期建築本体  
工事について**

**問** 現在の庁舎建設計画について、当初予算内での施工が可能となるような設計の見直し(規模縮小等)を行う考えはないのか問う。

**答** (町長) 設計の見直しは元の計画と比較して内装の仕様等のグレードダウンにつながる可能性があることや、数年後に追加工事等の必要性も考えることから、この物価高騰が続く中、早期実現の建設が望ましいと考えている。

(総務課長) 議会の皆様から頂いたご意見等を考慮しながら、工法の見直しや材料の見直し

など工夫の余地を探りながら確保予算内で工事が収まるよう検討してきたが、事業費を再積算し、設計業者と協議した結果、構造的制約、スケジュール感、工事費の上昇など様々な点を鑑み、現設計のまま事業を進めることが妥当であると判断している。

**問** 町民や議会に対し、建設変更や予算に関する内容を丁寧に説明し、透明性のある情報公開を行う考えはないのか問う。

**答** (総務課長) 補正予算で現予算増額を行い事業進捗を進める方がよいと判断した理由としては、①現計画で事業を進めることにより、標準工期8か月プラス離島勘案2か月となり、計10か月で完成予定が見込まれている。設計変更を行う場合は、変更後の規模や工事費を設定し、実施設計、建築基準法等の計画申請、発注工事の流れとなるため、

最短でも2年を要する想定されている。②2年延びると、10%工事費が上昇すると想定される。③行政的制約(建築基準法による制約)である。今後も丁寧な説明と情報共有に努め、町民の安心・安全を守る役場新庁舎2期本体工事の早期完成に向け事業を進めていきたいと考えている。

**保健センターについて**

**問** 現在、保健センターは庁舎内にありますが、ほーらい館へ移す考えはないのか問う。

(健康増進課長)

**答** 現時点で移動する予定はないが、今後の状況や環境によっては検討をする余地はあるとは考えている。

**要望** 心の病を抱えている方々をどのようにして助けていくか、大事にしていくかというのを理念にして、私はほーらい館へ移

すのがベストだと思っ  
るので、今後、しっかりと  
した考えのもとで行政運営  
を進めていただきたい。

**次回の定例会のお知らせ!**

次回の定例会(第1回)は、3月10日(火)からを予定しております。

ネット配信も行っておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。

手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入口の受付表に、住所、氏名を記入していただくだけです。

尚、3月定例会では、主に当初予算の審議が行われます。一般質問は、11日・12日の2日間を予定しております。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話番号 86-3150 (直通)





美島 盛秀 議員

伊田町長の政治姿勢について

**問** 副町長人事について、現在不在の状況であるが町政での支障等はないか問う。

(総務課長)

**答** 副町長の不在は、総務課長をはじめ、役場職員の負担や現場職員の指導等においても、また、町政の安定の面からも早期の改善が求められている。町長の補佐役として経験や能力、専門性、知識等を有し、総合的に物事を判断できる人物が望ましいと考えている。

**問** 新庁舎建設について、令和2年度の実施計画から既に6年が経過しているが、完成の見通しについて問う。

(総務課長)

**答** 現在、再積算修正の取りまとめを行い工事費増が見込まれたので、本会議において、本補正予算が可決された際には、速やかに工事発注を行い、令和8年末を目途に工事を進めていく予定としている。



2月23日(月)に執り行われた伊仙町役場新庁舎新築工事 地鎮祭の様子



**問** 指名委員会について、公共工事における指名入札の執行は公平・公正で透明性があると考えているが、十分に精査した上で実施されているのか問う。

(町長)

**答** 伊仙町においては工事の格付、業者の保有する技術職員の数及び過去の実績等を勘案して指名がなされていると認識している。

(総務課長)

入札参加資格申請書を提出していただき、名簿に登録された業者の中から建設業許可の業種、技術者の有

無、手持工事、過去の実績等を、またはその中には県における施工能力、格付表を考慮し、指名を行っている。今後も、県の格付等も参考にしながら指名を行い、また、以前から問題となっている町内業者育成というところも念頭に指名を行っているしていきたいと考えている。

要望

県の格付等を参考に、町内業者を育成し、前に進める行政であることを要望する。

**問** 伊仙町糖業振興会における使途不明金問題は処理できたのか問う。

(経済課長)

**答** 8月19日以降、被告からの支払いはなく、現在、早急に債権の回収ができるよう、給与の差押え等や強制執行も含めて弁護士と協議を進めている。

問

伊仙町堆肥センターにおける使途不明金問題は処理できたのか問う。

**答** (経済課長) これまでも説明してきたように、ハードルは極めて高いものと実感している。糖業振興会の件も併せて、弁護士と都度連絡を取り合っていたこともあるので、今後全ての書類を持参し、弁護士相談を行う予定としている。

**問** 漁業集落活性化事業の再興はできるのか問う。

(町長)

**答** 海産物の資源確保や消費拡大に向けた取組等改善できる施策については、漁業関係者との意見交換を通して改善していきたいと考えている。

(経済課長) 事業の見直しに向けて、再度、町内の漁民が集結して事業を実施できるように形を取らなければならないと考えている。

